

平成 30 年 7 月豪雨災害の復旧状況について No. 5

1. 災害復旧の現状について

前号でもお知らせしたように、平成 30 年 7 月豪雨では庄原市も大変な被害を受け、道路・河川、農地・農業用施設、林道の国庫補助となる災害復旧事業が 1,483 件、被災金額は約 90.5 億円という甚大な結果となっています。

国への補助金を申請する災害査定は平成 31 年 2 月 1 日に全てが終了し、現在緊急性の高い箇所や早期発注が必要な箇所等の工事発注を行なっているところです。

平成 31 年 3 月末現在における工事発注済件数は、全体で 222 件と全件数の約 15%という状況です。施設別では、道路・河川などの公共土木施設が 189 件で約 40%、農地・農業用施設災害が 29 件で約 3%、林道が 4 件で約 17%という状況となっています。

【各施設災害別の被災件数と工事発注状況（平成 31 年 3 月末現在）】

種別	細別	被災件数	工事発注済		工事完成	
			件数	発注率(%)	件数	完成率(%)
公共土木施設	道路	212	154	72.6	53	25.0
	河川	252	34	13.5	5	2.0
	下水	1	1	100	1	100
	小計	465	189	40.6	59	12.7
農地・農業用施設	農地	442	15	3.4	0	0
	施設	552	14	2.5	11	2.0
	小計	994	29	2.9	11	1.1
林道		24	4	16.7	0	0
合計		1,483	222	15.0	70	4.7

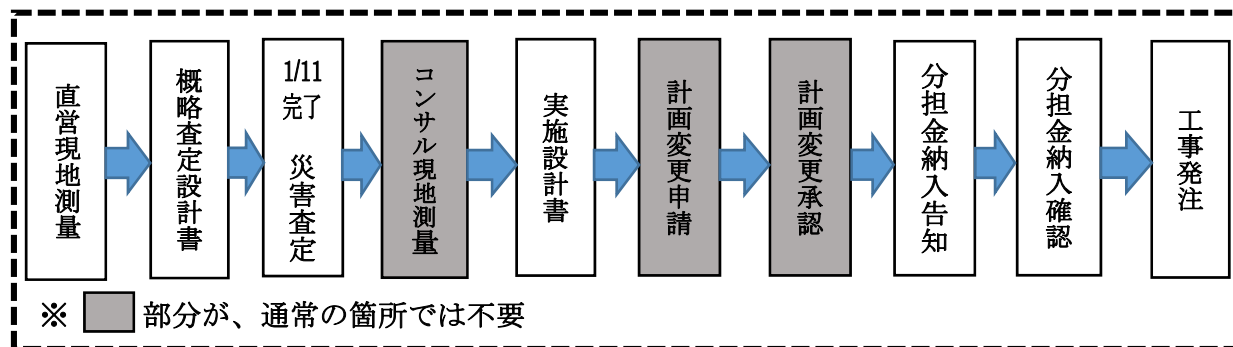
2. 農地・農業用施設の復旧について

農地・農業用施設は特に被災件数が多く、全体の約 7 割を現地の測量などを省略した簡素な手法で国への補助金申請をしています。簡素な手法で申請した箇所は、コンサルタントによる測量設計を行い、国の承認を受けてからでないと工事発注ができないため、早期の復旧は困難な状況にあります。そのため、公共土木施設に比べ工事発注が遅くなっている状況です。

一方、簡素化でない通常の手法で申請した箇所については、再度の測量設計や国の承認を受ける必要が無いことから、準備が整い次第順次工事を発注してまいります。

裏面に続く

【簡素な手法で申請した箇所における工事発注までの流れ】



このうち、擁壁や水路などの構造物を伴わない泥取り（排土）のみの箇所や、国への申請時に仮設ポンプ等の応急工事が認められた箇所については、できるだけ今年春の作付けに間に合うよう早期発注に努めています。

また、施設の損傷度合いが比較的少なく、被災があっても作付けが可能な箇所については、やむを得ず工事発注が遅くなる場合がありますので、ご理解とご協力をお願いします。

3. 農林施設補助金について

農林施設整備補助金は、農林施設の改修・改良工事又は国の補助事業に満たない災害復旧工事に対して補助金を交付する、庄原市の単独補助金制度です。

この度の災害を受け、より多くの農林施設を復旧する必要があることから、補助率の嵩上げや対象工事費を緩和するなど、特例措置を設けています。発災から3ヶ年での復旧期間を要するなか、農地などの復旧をお急ぎの方については本制度を活用しての復旧も可能です。

また、国の補助対象となっている被災箇所について、本補助金を活用して応急工事を実施できる場合もありますので、活用を検討される際にはお問い合わせ下さい。

【農林施設整備補助金の概要】

項目	通常補助	災害分	平成30年7月豪雨の特例
工事費	10万円以上	10万円以上 40万円未満	<u>3万円以上</u>
期間	当該年度末までに工事が完了するもの	災害発生年度の翌年度までに工事が完了するもの	<u>平成33年3月31日までに工事が完了するもの</u>
補助率	25%	農地:25%	<u>農地・農林施設:75%</u>
限度額	限度額:37万5千円	農林施設:62.5%	<u>限度額30万円</u>

お問い合わせ先

庄原市環境建設部 建設課
 農林施設復旧係 Tel 0824-73-1117
 公共土木復旧係 Tel 0824-73-1116